

セブンイレブン・マレーシア・ホールディングス(SEVE) コンビニ事業へ選択集中。セブン・カフェと自動調理・包装の生鮮食品店舗、倉庫型自動運営店舗、ネットストア

マレーシア | 食品・薬店 | 業績フォロー

BLOOMBERG SEM:MK | REUTERS SEVE.KL

- 2023/12期4Q（10-12月）は、売上高が前年同期比8.1%増、コア純利益が同18.2%減。売上高販管費率が同5.9ポイント悪化と、費用が嵩んだ。
- 薬局事業を担うケアリング・ファーマシー株式保有分の75%を売却。売却資金をコンビニ事業へ回すなど事業の選択と集中を推進。
- セブン・カフェ付き店舗と調理・包装まで自動化生鮮食品販売店、倉庫型自動運営店舗、ネットストアの相乗効果で生産性向上が見込まれる。

What is the news?

2/29発表の2023/12期4Q（10-12月）は、売上高が前年同期比8.1%増の10.72億MYR、財務部門における権利行使の特殊要因の影響を除くコア純利益が同18.2%減の16.4百万MYR。コンビニエンスストア事業および薬局事業ともに新規店舗数増加が増収に寄与も売上高販管費率が同5.9ポイント悪化した。前四半期比は、売上高が2.2%増、コア純利益が28.7%減。

4Qのセグメント別の業績は以下の通り。①コンビニエンスストア事業は、売上高が前年同期比5.5%増の6.94億MYR、コア純利益が同89.2%増の13.4百万MYR。12月末合計店舗数が9月末比34店増の2566店に拡大。内、生産性が高い「セブン・カフェ」付きへの改装店舗数が12月末時点で同61店純増の247店舗へと増えた。②同社が40%の株式を保有するケアリング・ファーマシー・グループが担う薬局（ファーマシューティカル）事業は、売上高が前年同期比13.1%増の3.78億MYR、コア純利益が同77.3%減の2.9百万MYRだった。取引先からのリベート収益増により粗利益率が同0.7ポイント上昇の20.3%に改善したものの、新型コロナウイルス対応の検査キットや顔マスクなど高利益率製品の長期供給契約が減少した。12月末店舗数は前期末比30店舗増の250店舗に拡大した。

How do we view this?

同社は昨年12月、薬局事業を担うケアリング・ファーマシー株式保有分のうち75%分を国内同業他社のビッグ・ファーマシー・ヘルスケアへ売却した。売却で得た資金はコンビニ事業へ回すなど事業の選択と集中を推進している。コンビニ事業は、日本でも好評なセブン・カフェ付き店舗への改装を加速する方針だ。

カフェは生鮮食品と一緒に購買されることが多い。同社はクアラルンプールを中心とした首都圏であるクランバレーで1000店舗までの新たな生鮮食品販売店の建設を近いうちに予定している。この生鮮食品販売店では、下準備・調理・包装など一連の工程が自動化された設備で行うことで高い生産性が見込まれている。セブン・カフェ付き店舗の本格展開により相乗効果で生鮮食料品の成長も期待されよう。

それに加え、30万平方フィートの倉庫型自動運営店舗が完成。更にモバイルアプリのプラットフォームを通じたオンデマンド配達のネットストア「My7E」導入予定なども利益率改善に繋がると期待されよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=31.62円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高(百万MYR)	2,808	3,764	2,783	3,484	3,721
当期利益(百万MYR)	44	66	276	87	91
EPS(MYR)	0.04	0.06	0.25	0.08	0.09
PER(倍)	49.75	33.17	7.96	24.88	22.11
BPS(MYR)	0.08	0.12	0.32	0.36	0.42
PBR(倍)	24.88	16.58	6.22	5.53	4.74
配当(MYR)	0.02	0.03	0.00	0.04	0.04
配当利回り(%)	0.80	1.31	0.00	2.01	2.01

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) 0.04 (予想はBloomberg)
終値(MYR) 1.99 2024/3/18

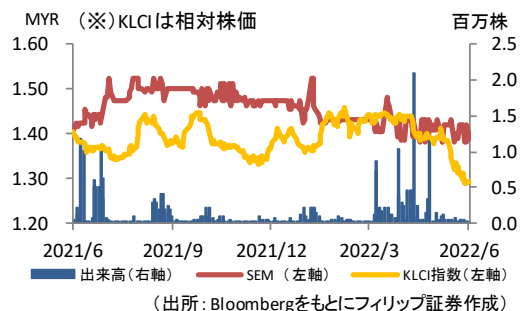
会社概要

1984年設立のマレーシア最大のコンビニエンスストアチェーン。産業コングロマリット大手のベルジャヤ・グループ傘下の企業。「セブンイレブン」の店舗名で1984年に第1号店をクアラルンプールで出店。2024年12月末現在、マレーシアで2566店舗を展開している。Slurpee やBig Gulpといった同社独自のブランドを含め、2,200以上の製品ラインアップを提供する。

2020年に、薬局チェーン店を展開するマレーシア首位のケアリング・ファーマシー・グループを買収。店舗数は2023年末現在マレーシア250店舗(2020年末時点での2024年目標が200店だった)に拡大。ケアリングファーマシーはモバイルアプリを介したポイントサービスが人気のドラッグストアのブランドであり、ネット通販事業に定評がある。

企業データ (2024/3/19)

ベータ値 0.63
時価総額(百万MYR) 2,207
企業価値=EV(百万MYR) 2,797
3か月平均売買代金(百万MYR) 0.03



主要株主 (2024/3)

(%)

1.CLASSIC UNION GROUP LTD	26.27
2.Tan Chee Yioun	22.36
3.PERTUBUHAN KESELAMATAN SOSIAL	4.60

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。